



2026年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社メイホーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 尾松 豪紀
(コード：7369 東証グロース・
名証ネクスト)
問合せ先 取締役専務執行役員 野島 透
(TEL. 058-255-1212)

第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年8月13日に公表しました2026年6月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年6月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異

(2025年7月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,100	百万円 △10	百万円 △20	百万円 △90	円 銭 △19.16
実績値 (B)	5,867	△116	△113	△105	△22.34
増減額 (B-A)	△233	△106	△93	△15	△3.18
増減率 (%)	△7.1	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (2025年6月期第2四半期)	6,208	100	82	△16	△3.46

2. 差異の理由

売上高は、主として建設事業において大阪・関西万博に伴う地下鉄関連工事の制限により発注および施工の一時的な中断が発生したこと、ならびに前年同期の駆け込み需要の反動減が重なったことにより、予想を下回りました。なお、足元の受注活動は堅調であり、これらの影響は構造的な問題ではなく一時的なものに留まる見込みです。

利益面につきましても、上記の売上高の減少の影響を主因として予想を下回りました。

一方で、第2四半期における受注活動は極めて堅調に推移しており、建設事業を中心とした大型案

件の獲得により、当中間連結会計期間の受注高は、4,728百万円（前年同期比46.7%増）、受注残高は5,546百万円（同26.0%増）といずれも前年同期を大きく上回りました。建設事業の特性上、これら豊富な受注残高が売上に寄与するまでには一定の期間を要しますが、今後の業績回復に向けた基盤は着実に整いつつあります。

	受注高	受注残高
2025年6月期 第2四半期（中間期）実績（A）	百万円 3,223	百万円 4,402
2026年6月期 第2四半期（中間期）実績（B）	4,728	5,546
増減額（B－A）	1,505	1,144
増減率（%）	46.7	26.0

以上より、通期の連結業績予想につきましては、現時点において、2025年8月13日に公表いたしました内容に変更はありません。

なお、業績予想は、2026年1月15日に公表いたしました「当社連結子会社による事業譲受に関するお知らせ」による連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、連結業績予想に含まれておりません。確定次第速やかに開示いたします。

以上